

「令和4年度 茨城県地球温暖化対策実行計画改定小委員会(第3回)」 審議要旨

- 1 日 時 令和4年10月14日(金) 10:00~12:05
- 2 場 所 茨城県庁12階 県民生活環境部会議室 (WEB会議)
- 3 出席者 別添のとおり
- 4 結 果

(1) 概 要

委員からの意見を踏まえ、計画改定を進めることとなった。

- 議事1 第2回委員会におけるご質問への回答
- 議事2 温室効果ガスの削減目標(案)について
- 議事3 茨城県地球温暖化対策実行計画(素案)について
- 議事4 促進区域の設定に関する県基準について

(2) 委員からの意見

- ◆ 議事1 第2回委員会におけるご質問への回答(事務局より報告。意見等なし)
- ◆ 議事2 温室効果ガスの削減目標(案)について
 - ・フロン類の排出量の削減について、将来的には、県独自に排出状況を調査し明らかにするとともに、国以上に、フロン類の削減を進めていく必要がある。
 - ・温室効果ガスの削減目標について、最初から達成が難しい高い目標値を設定することは良くないが、PDCAサイクルを回しながら、積極的に取組を進めていくのであれば、高い目標値を設定することも考えられる。
- ◆ 議事3 茨城県地球温暖化対策実行計画(素案)について
 - ・電気自動車の充電設備について、今後は商業施設や宿泊施設へのさらなる普及が重要であるため、「今後、充電設備の導入を促進すること」について、記載を検討されたい。
 - ・取組目標「地球環境保全行動条例に基づき大規模事業所を訪問し省エネ・再エネ導入の促進の助言等を行う件数」について、助言により実際にどの程度省エネ・再エネ設備等の導入に結びついたかを取組目標にすることを検討されたい。
 - ・取組目標「つくば霞ヶ浦りんりんロードで展開する広域レンタサイクル利用者数」について、取組とCO2削減効果の結びつきが見え難いため、内容の変更を検討されたい。
 - ・取組目標「県産木材の供給量」を増やすことを検討されたい。また、県産木材の供給量の増加によるCO2削減量などについて、記載を検討されたい。
 - ・「国の計画・施策等」について、内容の補足説明の追記を検討されたい。
 - ・気候変動適応策について、現時点で茨城県において、気候変動によりどのような被害が生じているのか、記載を検討されたい。また、気候変動に対して、既に対応している内容があれば、その内容についても記載を検討されたい。

◆ 議事4 促進区域の設定に関する県基準について

- 太陽光発電について、茨城県は条件が良い場所が多く存在するため、建物、住宅、公共施設などの屋根置き太陽光発電について、さらなる導入が望まれる。
- 最近では、太陽光パネルが屋根と同じ色であり、発電施設に見えものや、光の吸収効率が良い太陽光パネルも普及しているため、導入に向けて県も働きかけてほしい。
- 太陽光パネルの廃棄やリサイクルに関する将来のことなどについて、広報を行い、一般的に情報が広がっていけば、再生可能エネルギーへの関心がより高まると考える。

(五十音順、敬称略)

所 属 等	氏 名
日本女子大学 家政学部家政経済学科 教授	天野 晴子
流通経済大学 経済学部 教授	板谷 和也【欠席】
国立大学法人筑波大学 名誉教授	内山 洋司
国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム領域 上級主席研究員	亀山 康子【欠席】
国立研究開発法人建築研究所環境研究グループ グループ 長	桑沢 保夫
茨城県中小企業レディース中央会 副会長	柴沼 啓子
日本製鉄（株） 東日本製鉄所鹿島地区 安全環境防災部 鹿島環境防災室長	但田 賢哉
NPO 法人やみぞの森 常務理事	中村 眞紀子
国立大学法人茨城大学 監事	人見 次男
国立大学法人茨城大学 大学院 理工学研究科都市システ ム工学専攻 教授（茨城県地域気候変動適応センター長）	横木 裕宗